

第3回 学校運営協議会 議事録

令和8年6月16日(火)

記録：副校長

参加者：三村委員長、星加副委員長、大久保委員、荒井委員、野島委員、青山委員、高澤委員、（事務局：宇野、伊藤）

1. 委員長あいさつ

- ・日頃、教育活動を見せていただく中で、先生方が優しく粘り強い指導をされているのは頭が下がる思いである。引き続き、様々な面で協力していきたい。

2. 校長あいさつ

- ・今回、5年生の移動教室出発2日前には台風の影響による臨時休校があり、到着2日後にはフィリピンでの大地震があったものの、無事実施することができた。子供たちも穏やかに各活動を楽しそうに取り組んでいた。
- ・チーム担任制を導入し、チームの教員で個別に話を聞いて、落ち着くまで対応している。子供たちが落ち着いて授業を受けられ、友達と仲良くできるようにインターン学生の受入れなど、例年より人手を多く確保した。委員の方も含め、様々ところで様々な人たちが対応してくれている。
- ・次回、ハ小俳句大賞の候補作品をお示ししたいと考えている。

3. 学校の様子について(生活指導主幹)

- ・6月に入り、子どもたちの素の様子が出てきた。頑張っている子もいれば、適応するのに苦戦している子もいる。落ち着いた環境で学習に取り組めるよう、学年・チームで情報共有しながら、対応している。
- ・今後、「帽子をかぶる」「水分を補給する」「時々、休憩をとる」といった熱中症に対する指導をする中で、教員も子供も熱中症予防の意識を高めていく。
- ・横断歩道の渡り方が危険だという情報が近隣住民から寄せられ、各学級で「線からはみ出さない」「信号が青になっても急に飛び出さない」といった指導を進めている。

4. わくわくスタディ・わくわくワークについて

【わくスタ】

- ・先生方に協力いただき、順調に進めている。みんな一生懸命に取り組んでいる。年間17回(対象学年 約4回実施)だが、学びの場になれば良いなと思っている。7月には1年生が初めてわくスタに参加する。

【わくワー】

- ・昨年度のわくわくワークのことを覚えている児童がおり、楽しみにしている。
- ・スタッフ12名で対応する。一中の学習部とボランティア部の生徒も協力してくれる。生徒さんにとっても、児童に教えることによって自分の力になる。
- ・多くの参加を待っている。

5. 「ピーポくんの家」事業について

- 「ピーポくんの家」事業の継続の方策について検討し、主に以下の意見が出された。
 - ・ステッカーを貼ってあることで抑止力につながっている。
 - ・大通りから外れた道沿いにもステッカーを貼ってある所がほしい。
 - ・子どもたちはある程度長い間、この地域に住むわけだから、地域とのつながりをもっていてほしい。
 - ・「ピーポくんの家」の継続確認に場所を確認できるマップがあるとよい。
 - ・協力いただいている店舗が子供の活動時間に合っていない実態もある。

6. 学運協委員と令和8年度着任教職員との懇談会について

- 懇談会について学校からの提案に委員から次のような意見が出された。
 - ・なるべく少人数で懇談したいので、3~4名程度のグループに分けてほしい。
 - ・家庭科室と理科室で行うこと。
 - ・参加委員（三村 星加 大久保 荒井 野島）

7. 学校評価について

- 学校から委員へ、令和8年度 前期学校評価への回答を依頼した。

8. 情報交換

- ・学童保育所の行事や在籍数の増減、日常の様子等について情報提供があった。
- ・放課後子ども教室での他校の事故案件を受けて、本校での事故防止策について情報提供があった。
- ・ブランコ柵内への侵入防止を呼び掛ける掲示物等について、委員から学校へ作成依頼があり、学校は承諾した。
- ・近隣中学校の学運協で闇バイトの防止取組授業をやった
- ・学校運営協議会情報連絡会の伝達事項についての情報提供があった。
- ・4年 総合的な学習の時間で学校の危険な場所を教材として取り上げた子供の安全について考える授業はとても良い取組だと感じた。子どもたちも自分たちの命を守ろうとしているということを地域や保護者の方に知ってほしい。
- ・4年生が作成する安全マップに「ピーポくんの家」を関連付けたマップにすると良いのではないか。
- ・5年生の児童が親と話し合いながら生活リズムを整えようとしている話が聞かれた。家庭でも生活について話し合いながら生活しているというのは素晴らしいと思った。
- ・8/21（金）の映画・花火の内容や開始時刻等について協議した。「花火大会」の看板を用意してほしい旨、委員から学校へ要望があり、学校は承諾した。

次回 第4回学校運営協議会 7月14日（火）16：45～